

パーキングブレーキ

目 次

整備基準値	2	パーキングブレーキレバー	5
給油脂	2	パーキングブレーキケーブル ＜ドラムブレーキ＞	6
特殊工具	2	パーキングブレーキケーブル ＜ドラムインディスクブレーキ＞	7
車上整備	3	パーキングブレーキドラム	9
1. パーキングブレーキの引きしろ点検・調整	3		
2. パーキングブレーキスイッチの点検	4		
3. ライニングのすり合わせ	4		



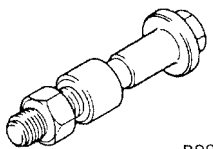
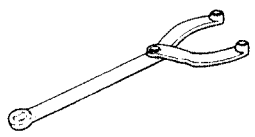
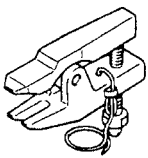
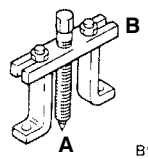
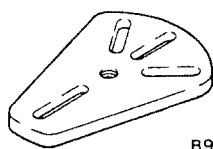
整備基準値

項目	標準値	限度値
パーキングブレーキレバーの引きしろ (操作力約196 N {20 kgf})	5～7ノッチ(ドラムブレーキ装着車) 3～5ノッチ(ドラムインディスクブレーキ装着車)	—
ブレーキライニングの厚さ mm	2.8	1.0
ブレーキドラムの内径 mm	168.0	169.0

給油脂

項目	銘柄	容量
バックングプレート	中央油化AKB100	適量
シュー&ライニング Ass'y		
アジャスター		

特殊工具

工具	番号	名称	用途
 B990998	MB990998	フロントハブリムーバー&インストーラー	リヤハブの固定
	MB990767	エンドヨークホルダー	ハブの固定
 B991113	MB991113, MB990635又は MB991406	ステアリング リンケージプラー	ナックルとトーコントロールアームボール ジョイントの結合取外し
 B990241	MB990241 A: MB990242 B: MB990244	アクスルシャフト プラー A: プラーシャフト B: プラーバー	ドライブシャフトの取外し
 B991354	MB991354	プラーボード	ドライブシャフトの取外し

車上整備

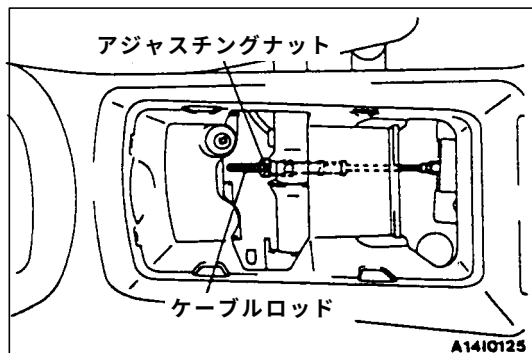
1. パーキングブレーキレバーの引きしろ点検・調整

1-1 引きしろ点検 (操作力約196 N {20kgf})

標準値:

5～7ノッチ (ドラムブレーキ装着車)

3～5ノッチ (ドラムインディスクブレーキ装着車)



1-2 引きしろ調整

- (1) カップホルダーを外しアジャスティングナットをケーブルロッドの端部まで緩めケーブルをフリーの状態にして、次の要領で調整する。

<ドラムブレーキ装着車>

ブレーキペダルの踏み込み操作をストロークが変化しなくなるまで繰り返す。

備考

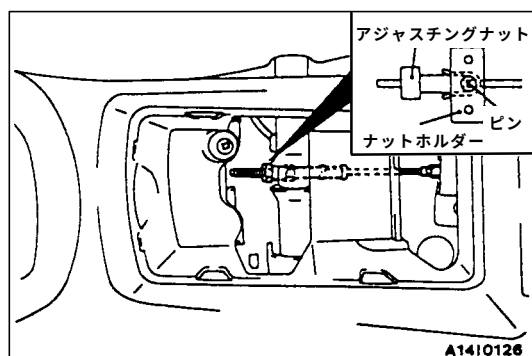
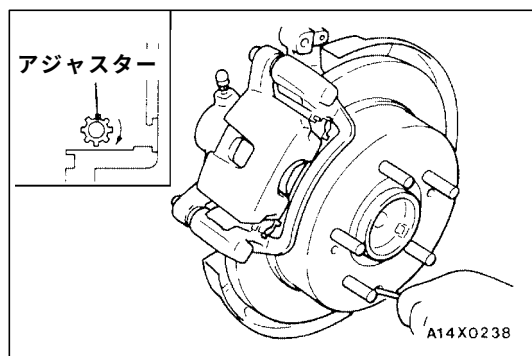
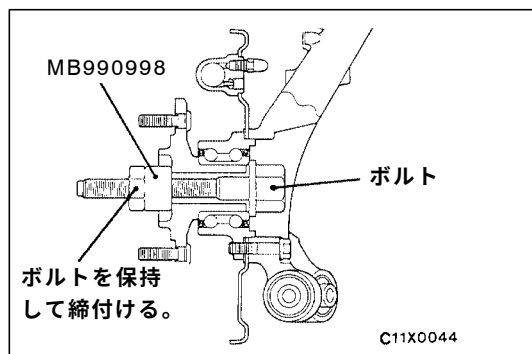
ブレーキペダルの踏み込み操作を繰り返せばシュークリアランスが正規に調整される。

<ドラムインディスクブレーキ装着車>

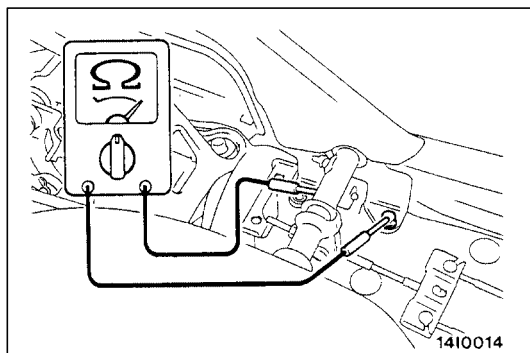
- 1) 4WD車はドライブシャフトをハブより抜き取る。
(グループ27参照)
- 2) 図示のように特殊工具をハブにセットする。
- 3) アジャスティングホールプラグを外し、(－)ドライバーを使用してアジャスターを矢印方向 (シュー拡張方向) に回転させ軽くブレーキのかかる状態 (両手でディスクが回らなくなる程度) にする。その後アジャスターを矢印と反対方向に5ノッチ戻す。
- 4) アジャスティングナットを回してパーキングブレーキレバーの引きしろを標準値に調整する。調整後アジャスティングナットとピンの間にがたがないことを確認する。

注意

パーキングブレーキレバーの引きしろを標準値未満に詰め過ぎるとリヤブレーキの引きずりを起こすため注意すること。



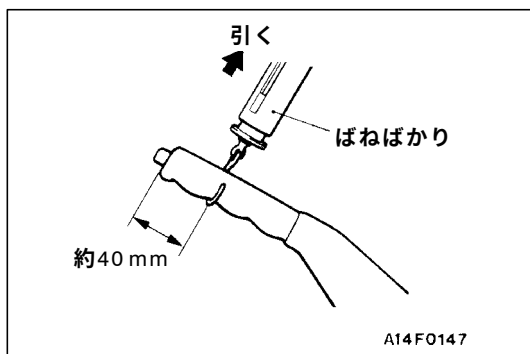
- (2) パーキングブレーキレバーの引きしろを調整した後、車の後部をジャッキアップする。パーキングブレーキを戻し、後輪を回してリヤブレーキに引きずりのないことを確認する。



2. パーキングブレーキスイッチの点検

パーキングブレーキスイッチの端子とスイッチ取付けボルト間の導通を点検する。

ブレーキレバーを引いたとき	導通あり
ブレーキレバーを戻したとき	導通なし



3. ライニングのすり合わせ

パーキングブレーキライニング又はリヤブレーキディスクローターを交換した場合又は効き不足の場合には以下の手順に従い、ライニングのすり合わせを行う。

注意

すり合わせは見通しの良い場所で安全に充分注意して行うこと。

- (1) パーキングブレーキの引きしろを標準値に調整する。

標準値 (操作力約196 N {20kgf}):

5～7ノッチ (ドラムブレーキ装着車)

3～5ノッチ (ドラムインディスクブレーキ装着車)

- (2) パーキングブレーキレバーグリップの中央にばねばかりを引っ掛け、98～147 N {10～15 kgf} の力でレバーと垂直方向に引っばる。
- (3) 35～50 km/hの定速度で100 m走行する。
- (4) パーキングブレーキを解除し、ブレーキを5～10分間冷却する。
- (5) 手順2から4を4～5回繰り返す。

パーキングブレーキレバー

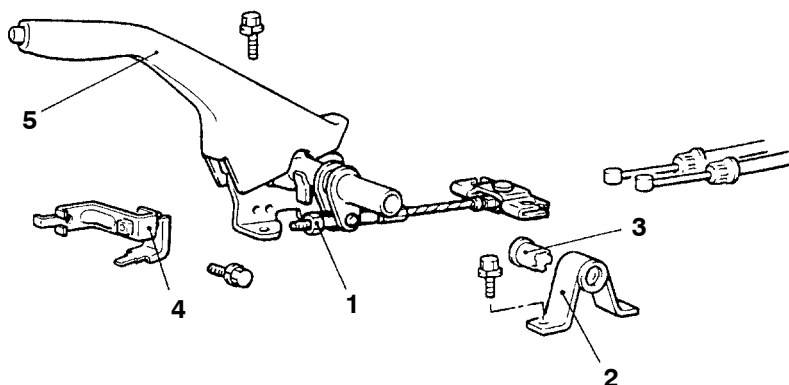
取外し・取付け

取外し前の作業

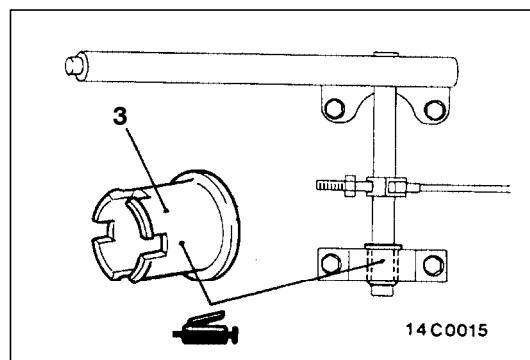
フロアコンソールの取外し (グループ52A参照)

取付け後の作業

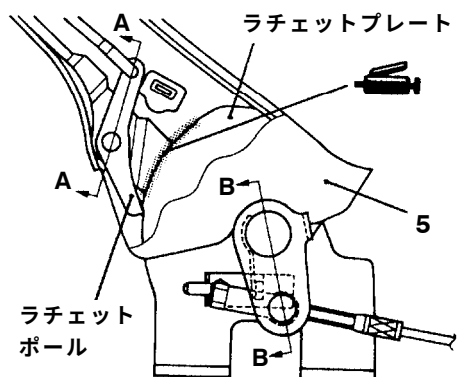
- パーキングブレーキレバーの引きしろ点検 (P.36-3参照)
- フロアコンソールの取付け (グループ52A参照)



1410023

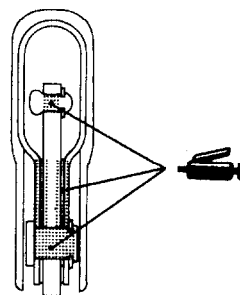


14C0015



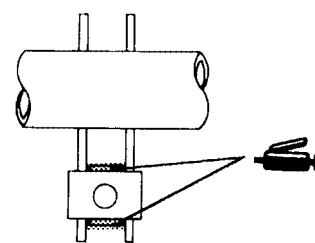
1410001

断面A-A



14X0010

断面B-B



14X0009
00005610

取外し手順

1. アジャスティングナット
2. パーキングブレーキステー
3. ブッシュ

4. パーキングブレーキスイッチ
5. パーキングブレーキレバー

パーキングブレーキケーブル <ドラムブレーキ>

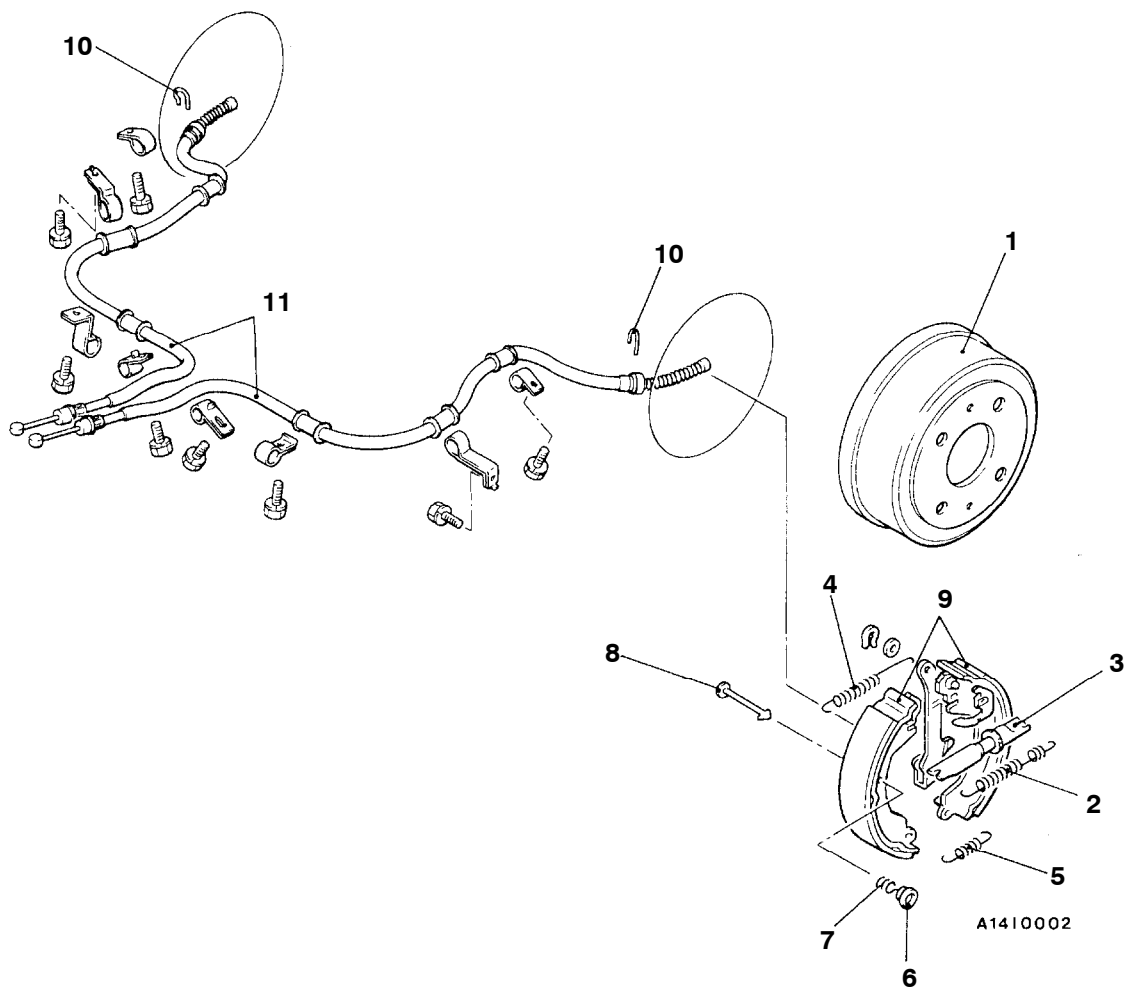
取外し・取付け

取外し前の作業

フロアコンソール及びリヤシートの取外し
(グループ52A参照)

取付け後の作業

- パーキングブレーキレバーの引きしろ点検
(P.36-3参照)
- フロアコンソール及びリヤシートの取付け
(グループ52A参照)



取外し手順

1. ブレーキドラム
2. シューツレバースプリング
3. オートアジャスターAss'y
4. シューツシュースプリング
5. リテーナーズプリング
6. シューホールドダウンカップ

7. シューホールドダウンスプリング
8. シューホールドダウンピン
9. シュー&ライニングAss'y
10. クリップ
11. パーキングブレーキケーブル

パーキングブレーキケーブル <ドラムインディスクブレーキ>

取外し・取付け

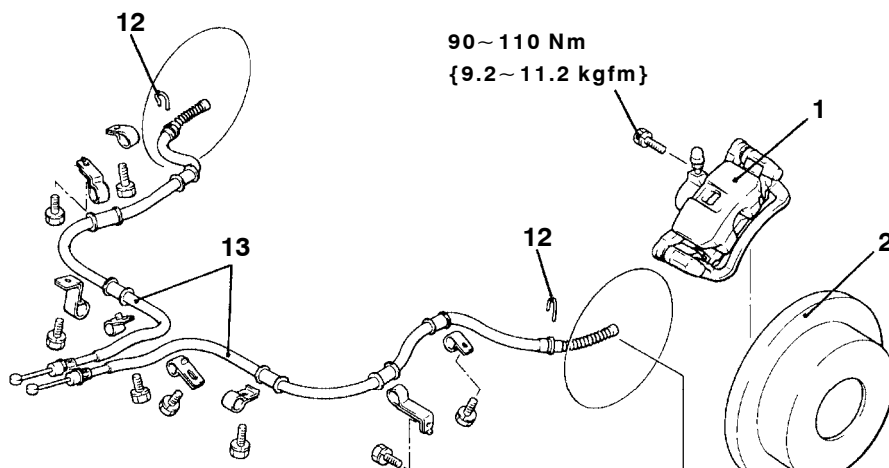
取外し前の作業

フロアコンソール及びリヤシートの取外し
(グループ52A参照)

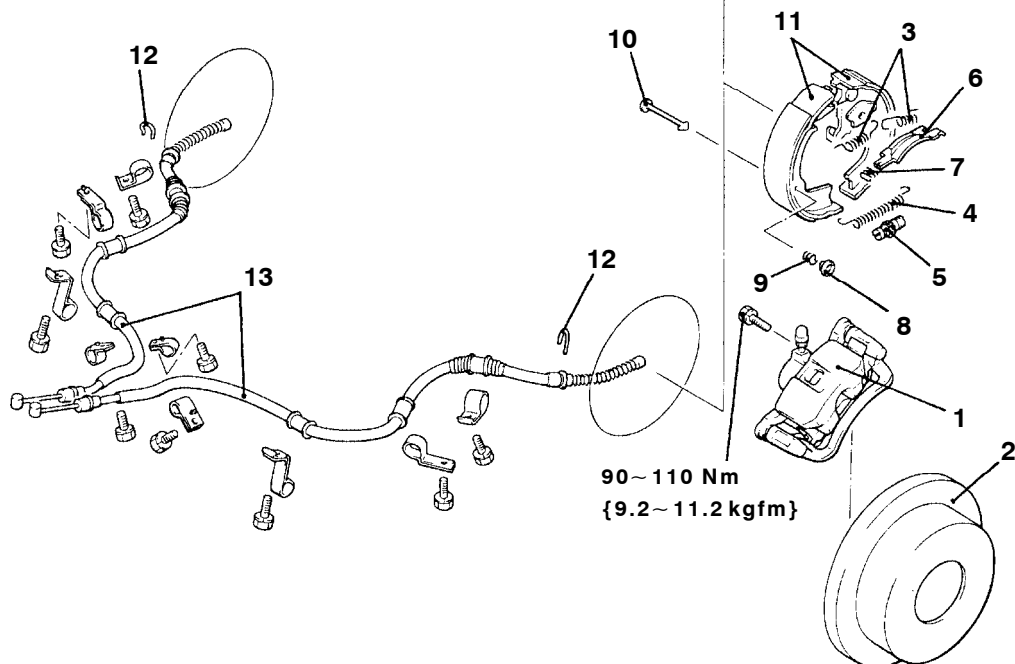
取付け後の作業

- パーキングブレーキレバーの引きしろ点検
(P.36-3参照)
- フロアコンソール及びリヤシートの取付け
(グループ52A参照)

<2WD>



<4WD>



A1410003

取外し手順

◀A▶

1. リヤブレーキキャリパーAss'y

2. リヤブレーキディスク

▶B▶

3. シューアンカー springs

4. アジャスティングスクリュー springs

▶A▶

5. アジャスター

6. ストラット

7. ストラットリターン springs

◀B▶

8. シューホールドダウンカップ

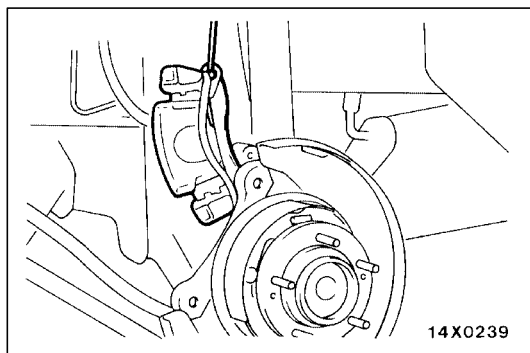
9. シューホールドダウン springs

10. シューホールドダウンピン

11. シュー&ライニングAss'y

12. クリップ

13. パーキングブレーキケーブル



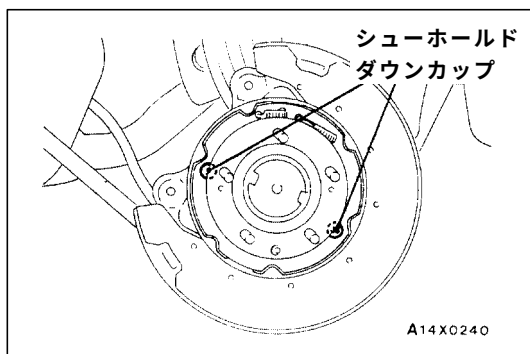
取外しの要点

◀A▶ リヤブレーキキャリパーAss'yの取外し

リヤブレーキキャリパーAss'yを取外し、針金等で保持する。

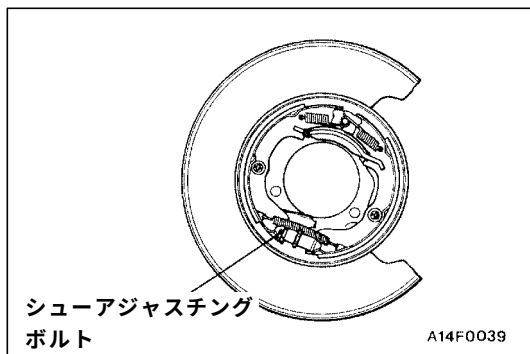
備考

4WD車は、ドライブシャフトを抜き取る場合、リヤブレーキキャリパーAss'yを外す前にロックナットを暖めておく。



◀B▶ シューホールドダウンカップの取外し

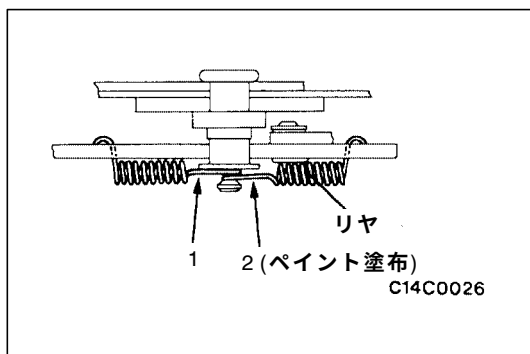
シュー&ライニングAss'yを拡張し、シューホールドダウンカップを取外す。



取付けの要点

▶A◀ アジャスターの取付け

アジャスターのシューアジャスティングボルトを左側は車両前方に、右側は車両後方にして取付ける。



◀B▶ シューツーアンカースプリングの取付け

シューツーアンカースプリングは図示の順序で取付ける

注意

シューツーアンカースプリングはそれぞれね荷重が異なり、誤組付防止のためリヤ側スプリングには識別色が塗布してあるので注意すること。

備考

図は左後輪を示し、右後輪は対称の位置となる。

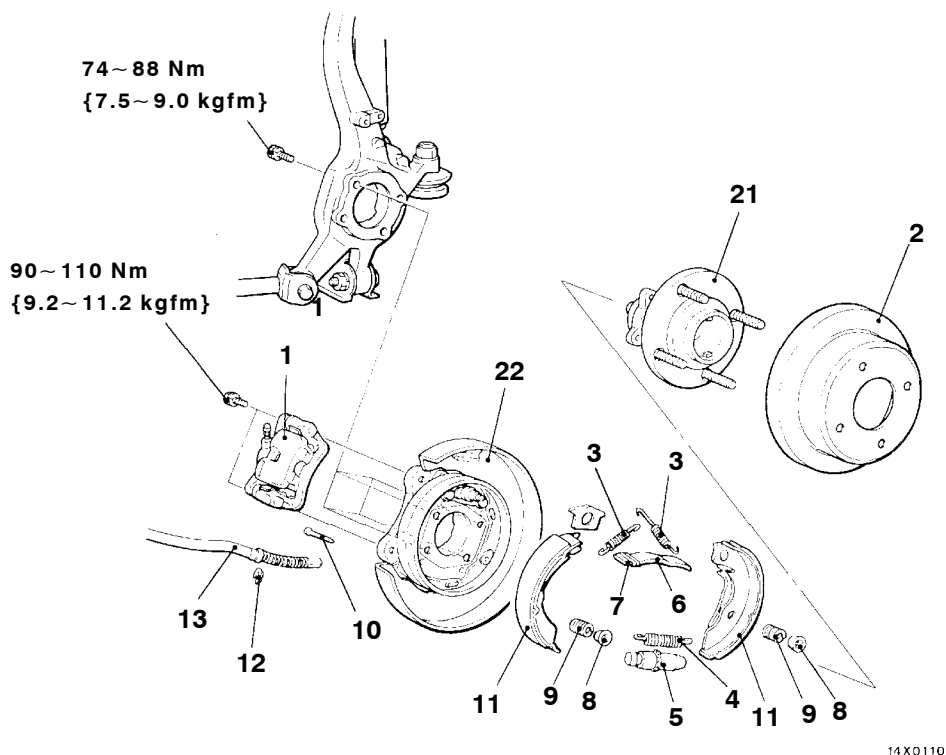
パーキングブレーキドラム

取外し・取付け

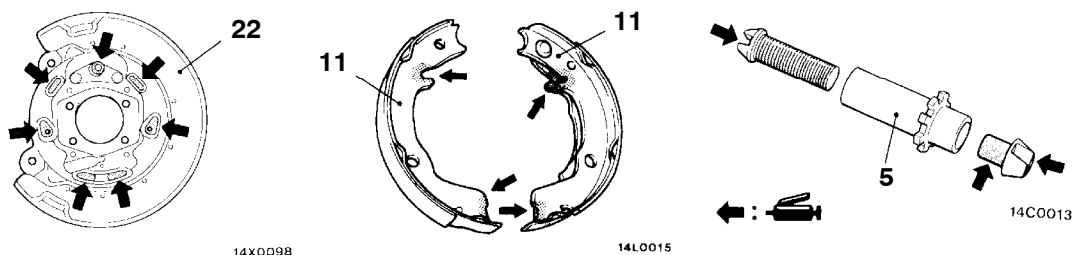
取付け後の作業

パーキングブレーキレバーの引きしろ点検
(P.36-3参照)

<2WD>



14X0110



14X0098

14L0015

14C0013

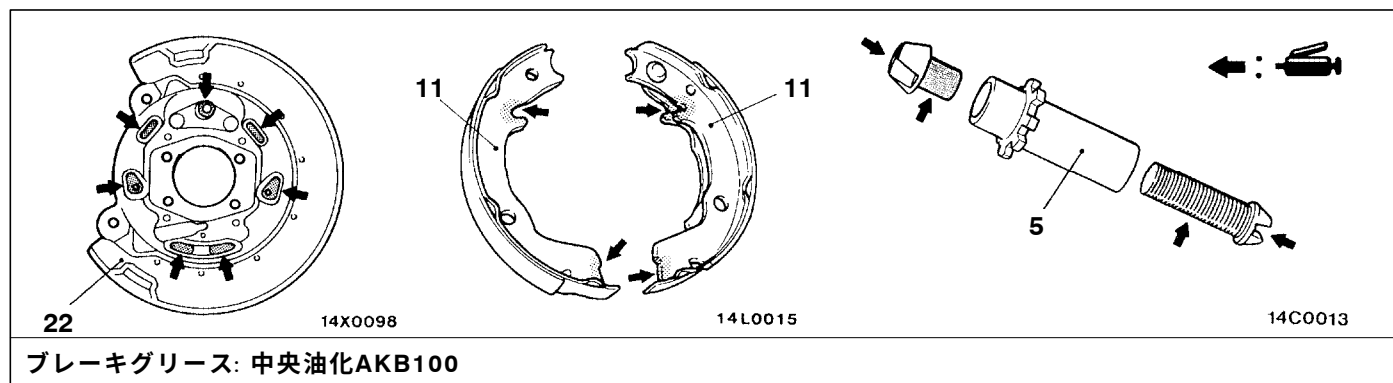
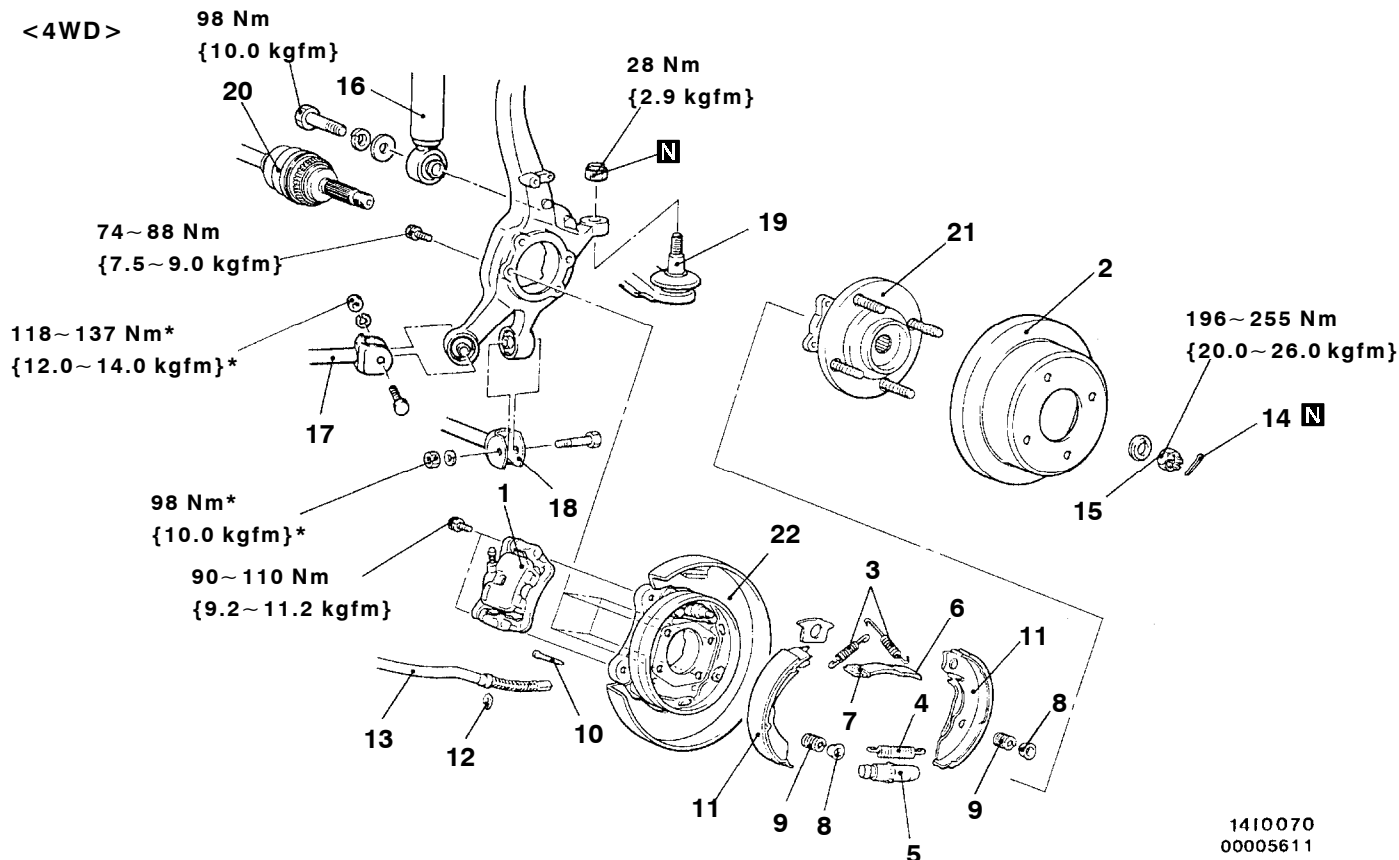
ブレーキグリース: 中央油化AKB100

00000002

取外し手順

1. リヤブレーキキャリパー (P.36-8参照)
2. リヤブレーキディスク
3. シューツーアンカースプリング
(P.36-8参照)
4. アジャスチングスクリュースプリング
5. アジャスター (P.36-8参照)
6. ストラット
7. ストラットリターンスプリング
8. シューホールドダウンカップ
(P.36-8参照)
9. シューホールドダウンスプリング
10. シューホールドダウンピン
11. シュー&ライニングAss'y
12. クリップ
13. パーキングブレーキケーブル
21. リヤハブAss'y (グループ27参照)
22. バッキングプレート

<4WD>



取外し手順

1. リヤブレーキキャリパー (P.36-8参照)
2. リヤブレーキディスク
3. シューツースアンカースプリング (P.36-8参照)
4. アジャスチングスクリュースプリング
5. アジャスター (P.36-8参照)
6. ストラット
7. ストラットリターンズプリング
8. シューホールドダウンカップ (P.36-8参照)
9. シューホールドダウンスプリング
10. シューホールドダウンピン
11. シュー&ライニングAss'y
12. クリップ

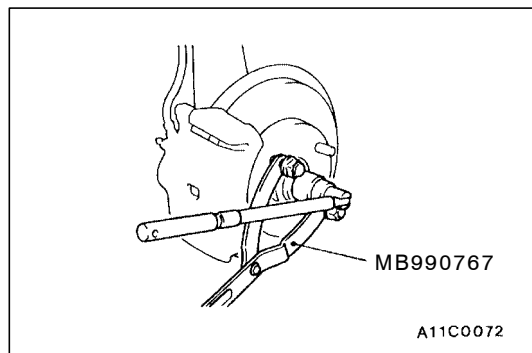
13. パーキングブレーキケーブル
14. スプリットピン
15. ドライブシャフトナット
16. ショックアブソーバーの結合
17. トレーリングアームの結合
18. ロワーアームの結合
19. トーコントロールアームの結合
20. ドライブシャフト
21. リヤハブAss'y (グループ27参照)
22. バッキングプレート

注意

*印の締付け箇所は仮締めした後、車両を接地させて、空車状態で本締めすること。

取外しの要点

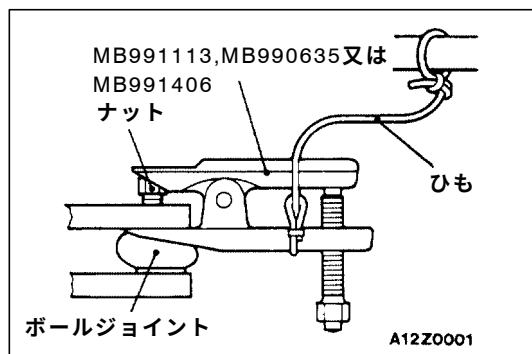
◀A▶ ドライブシャフトナットの取外し



◀B▶ トーコントロールアームの切離し

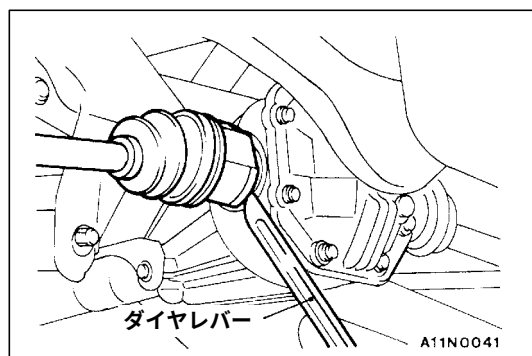
注意

1. ナットはボールジョイントから取外さずに、緩めるだけにしておき特殊工具を使用すること。
2. 脱落防止のため特殊工具をひもで吊っておくこと。

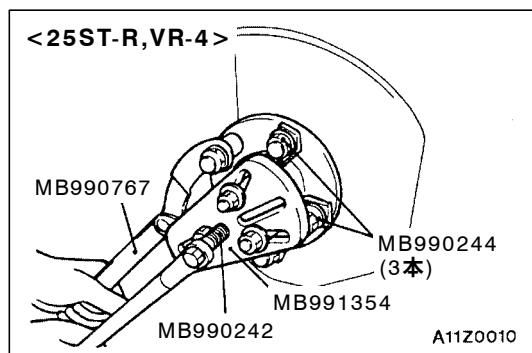
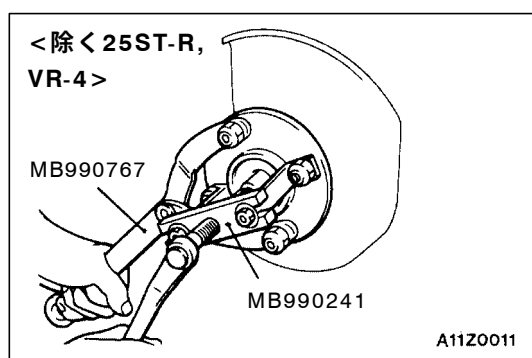


◀C▶ ドライブシャフトの取外し

1. ナックル下部を車両外側へ押し出し、ドライブシャフトをディファレンシャルキャリヤから切離す。
このとき、タイヤレバー等を使用して、ドライブシャフトの結合を切離す。



2. 特殊工具を使用して、リヤハブよりドライブシャフトを取外す。

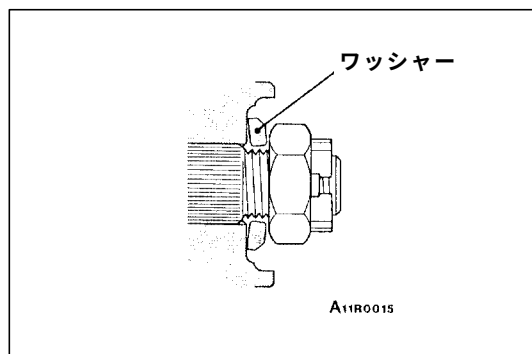


取付けの要点

▶A◀ ドライブシャフトの取付け

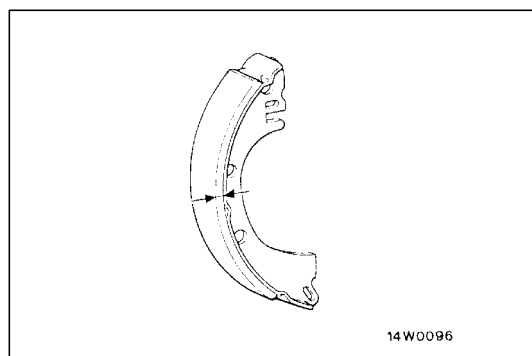
注意

ドライブシャフトのスプライン部でディファレンシャルキャリアのオイルシールを傷つけないように留意すること。



▶B◀ ドライブシャフトナットの取付け

1. ドライブシャフトのワッシャーは図示方向に組込む。
2. 取外し時のように特殊工具を使用し、ドライブシャフトナットを規定トルクで締付ける。



点検

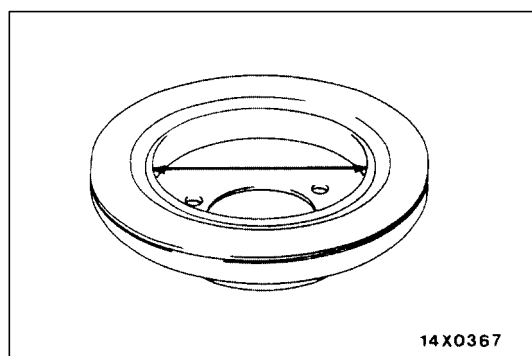
ブレーキライニング・ブレーキドラムの摩耗点検

1. ブレーキライニングの最も摩耗している箇所の厚みを測定する。

標準値: 2.8 mm

限度値: 1.0 mm

2. ブレーキライニングの厚みが限度値以上に摩耗している場合は、シュー&ライニングAss'yを車両左右両側セットで交換する。



3. ブレーキディスクの内径を2箇所以上測定する。

標準値: 168.0 mm

限度値: 169.0 mm

4. ブレーキディスクの内径が限度値以上に摩耗している場合又は著しく偏摩耗している場合は、ブレーキディスクを交換する。